

公募共同研究の選定プロセス

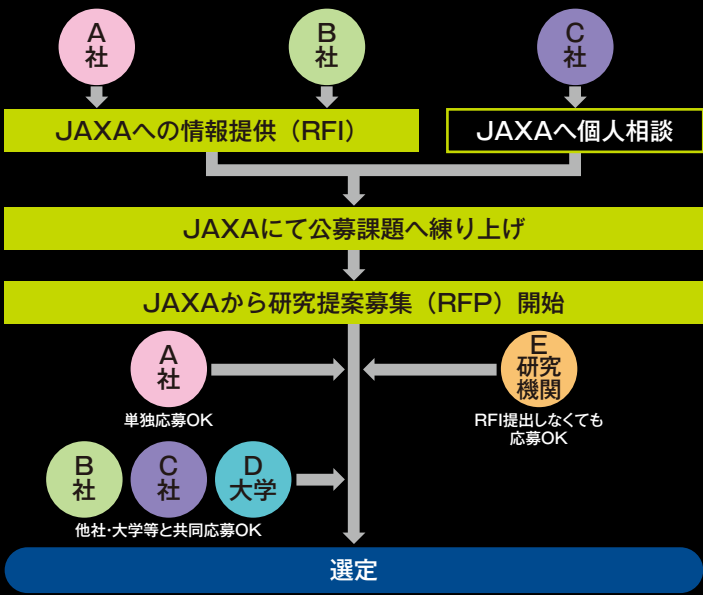
情報提供要請(RFI)にて提供いただいた情報をもとに研究提案募集(RFP)を行い、審査・選定の上、共同研究契約を締結することとなります。

RFIで情報を提供いただいていなくてもRFPには参加可能です。

共同研究費は原則JAXAよりご提供します。(※マッチングファンド形式ではありません)。

パートナーとなる皆様には地上での事業化に重点を置いていただき、JAXA専門スタッフがご支援します。

研究期間中はJAXA施設設備のご利用も可能です。また、人材交流のためのクロスアポイントメント制度や知財制度もご用意しています。



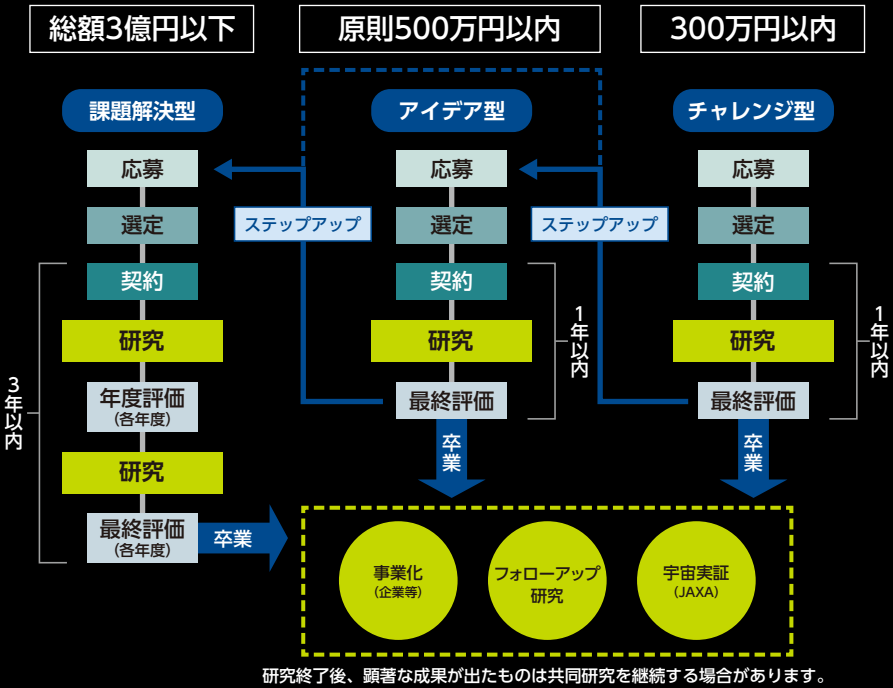
RFI (情報提供要請)

宇宙探査への応用だけでなく、地上での事業化につながる可能性のある技術情報を通年で募集しています。

詳細は探査ハブHPをご覧ください。

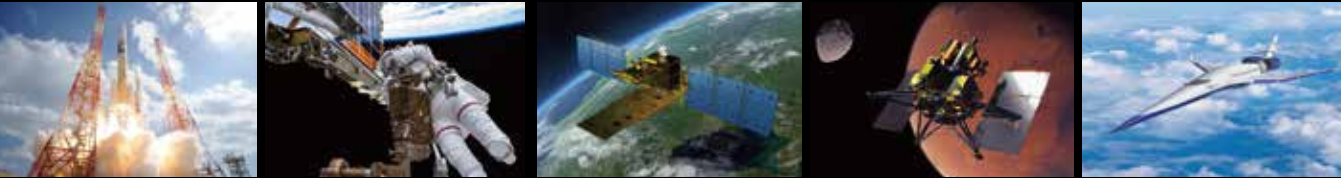
RFP (研究提案募集)

共同研究のご提案を年2回募集しています。募集要項や応募書類、公募説明会の配信について探査ハブHPをご覧ください。



JAXAについて

JAXA(国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構)は、政府全体の宇宙開発利用を技術で支える中核的実施機関として、宇宙航空分野の研究開発に取り組んでいます。



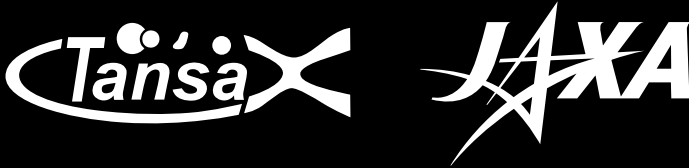
ご応募、お待ちしております

お問合せ先:宇宙探査イノベーションハブ事務局
SE-forum@jaxa.jp

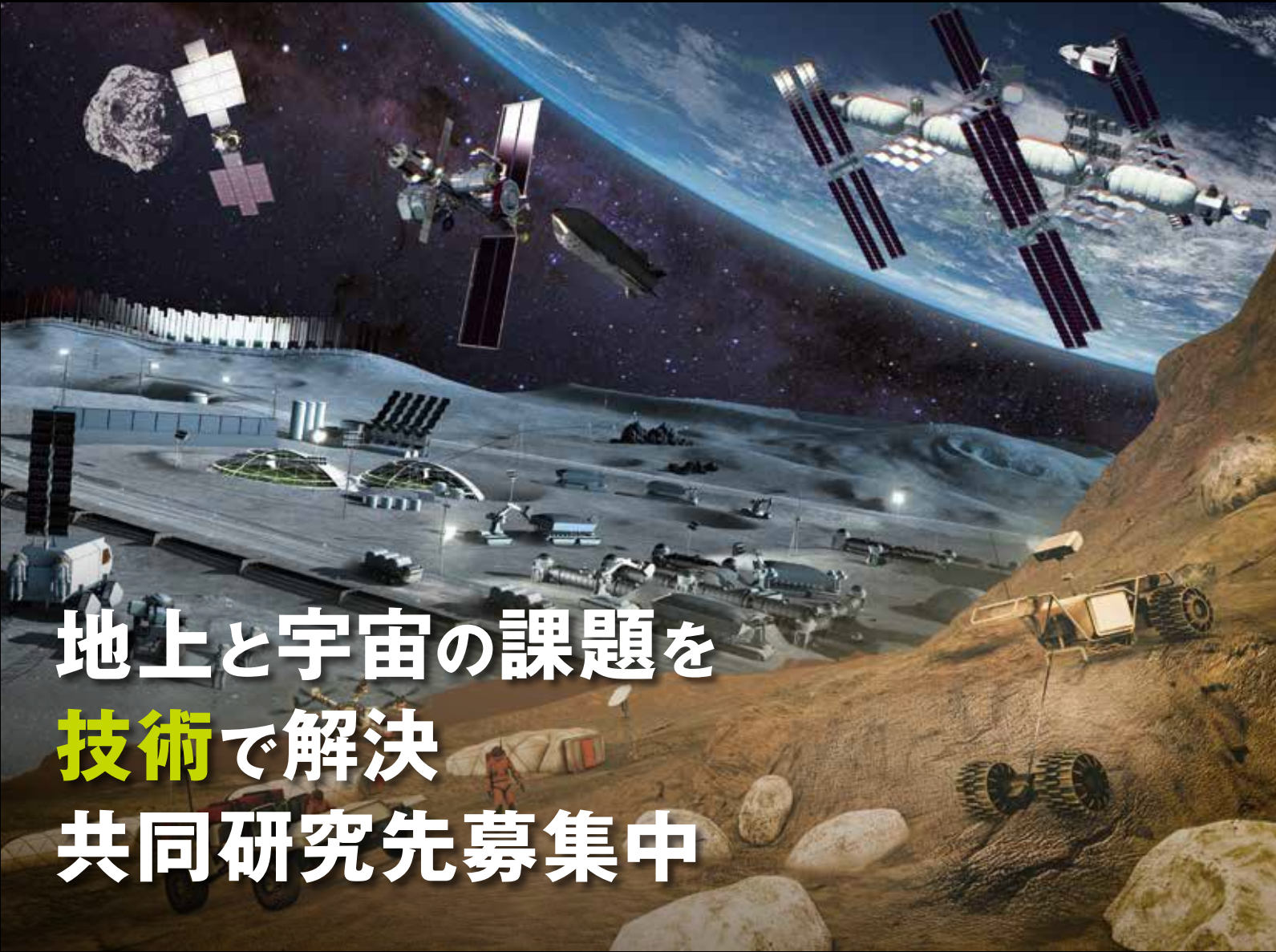
宇宙探査
イノベーションハブ
INNOVATION HUB



JAXA宇宙探査イノベーションハブ
お問合せ先:宇宙探査イノベーションハブ事務局
SE-forum@jaxa.jp



宇宙探査
イノベーションハブ
INNOVATION HUB



地上と宇宙の課題を
技術で解決
共同研究先募集中

探査ハブ で検索!

<https://www.ihub-tansa.jaxa.jp/>

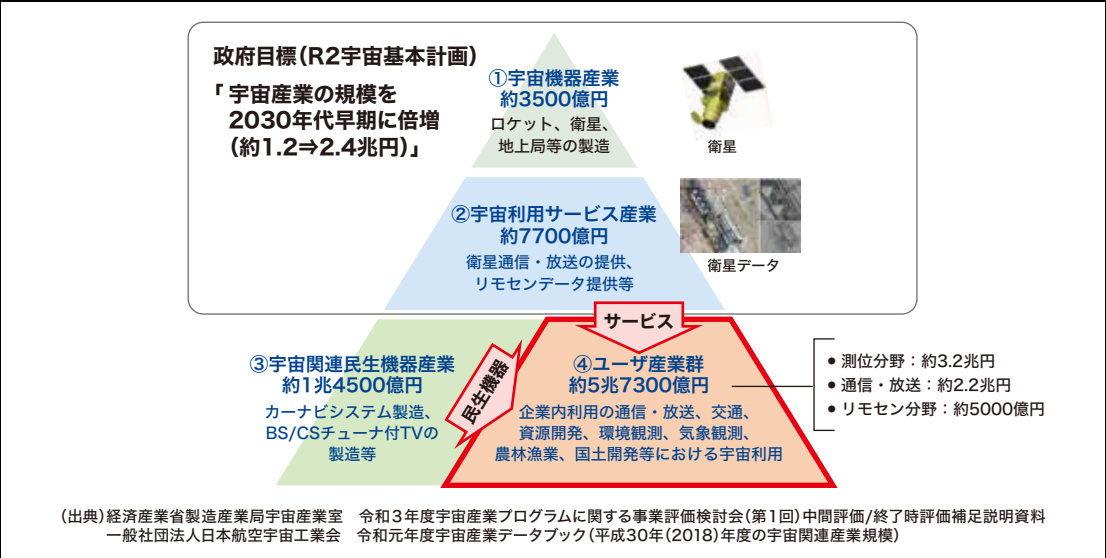


@JAXA_TansaX

宇宙産業に広がるビジネスチャンス

宇宙産業全体の国内市場規模は現在約1.2兆円。日本は2030年代早期に市場規模の倍増を目指しており、宇宙分野には多くのビジネスチャンスが広がっています。

宇宙ビジネスと聞いた時、ロケットや衛星を思い浮かべる方が多いかもしれませんが、一見宇宙とは関連の無さそうな技術も実は幅広く宇宙に生かされています。

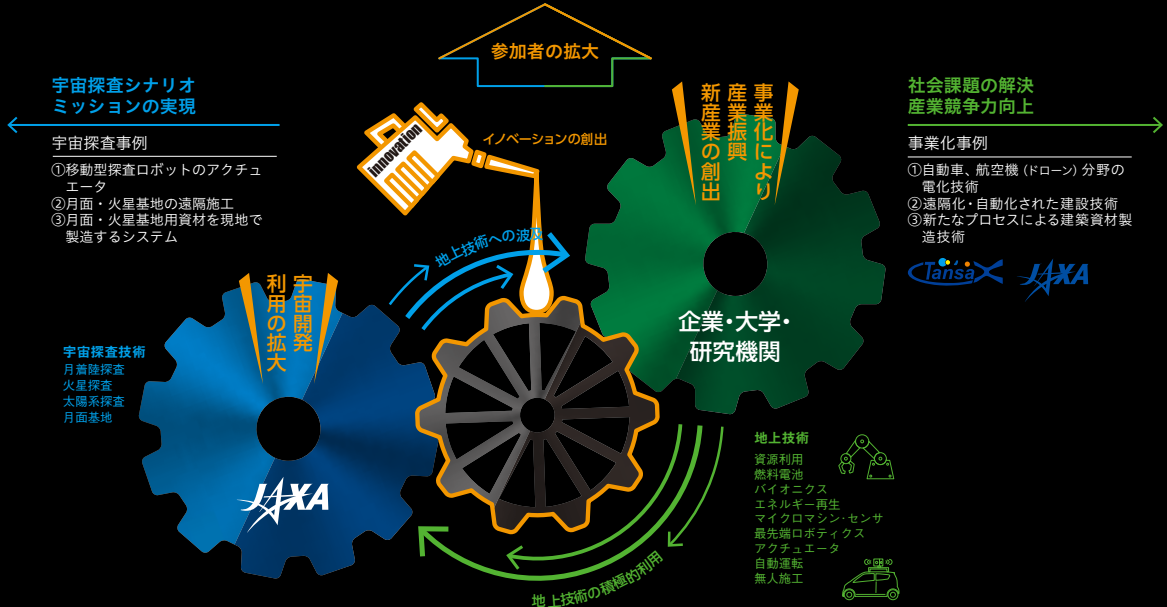


JAXA探査ハブ(宇宙探査イノベーションハブ)

私たち探査ハブは、オープンイノベーション拠点として産業界や大学等との共同研究を通じて、宇宙と地上の共通課題を解決する革新的技術の創出、宇宙利用と地上における産業化を目的に活動しています。

企業や大学等の皆様が抱える技術課題と、宇宙探査で今後必要となっていく技術の共通領域の、技術向上・発展を目指した共同研究にご参加いただける方を募集しています。宇宙探査での活用についてはJAXAで検討を行い、皆様には社会課題解決や産業競争力向上(事業化)を見据えて研究いただくことになります。

あなたがお持ちの技術で、私たちと一緒に宇宙と地上をより良いものにしませんか。



4つの技術課題

探査ハブでは、月や火星で人類が生活する未来に必要な技術の創出と、地上での社会課題解決を念頭に、主に以下の技術課題に沿って情報提供・共同研究の募集を行っています。この他、毎回新たな技術課題も募集しています。

建てる

- 無人/遠隔/自動で建設する
- 小型軽量システムで調査・掘削・整地する 等

作る

- 建設素材、資材等を現地で生産、再利用する
- 水、燃料等を現地で生産する 等

探る

- 着陸、移動する
- 自律(人工知能)で効率よく探査する
- 資源を発見、分析する 等

住む

- CO₂や生活廃棄物を再生利用する
- 食糧を省資源で生産する
- 人間の作業を省力化する 等

上記4課題に共通する技術

- 通信、エネルギー(電力)、熱制御、省エネルギー 等

主な成果例

これまで共同研究に参加いただいた企業・大学は212機関(2022年3月末時点)、約9割が宇宙分野と関わりのなかった企業・大学です。

月面ミッションへの採用

- 変形型月面ロボットSORA-Q
(タカラトミー、ソニーグループ、同志社大学)

おもちゃ開発のノウハウを適用し、小型軽量(直径80mm、本体約250g)かつ低コストの移動ロボットを開発
月面走行に必要なデータ取得ミッションに採用。



©JAXA / タカラトミー/ソニーグループ(株) / 同志社大学

地上(南極)での実証実験の実施

- 持続可能な住宅システムの構築
(ミサワホーム、ミサワホーム総合研究所、国立極地研究所)

共同研究の成果を応用し、地上での未来志向住宅や、月面等の有人拠点への展開を目指し、簡易施工性等の特徴を持つ移動基地ユニットの実証実験中。



©MISAWAHOMES.CO.,LTD

宇宙での技術実証の実施

- 月面農場を目指した袋培養槽技術
(竹中工務店、キリンホールディングス、千葉大学、東京理科大学)

月面農場を目指して省スペースかつ病虫害フリーを実現させる袋培養槽技術によるレタス栽培。ISSでの栽培試験を行った。



©竹中工務店

ビジネスでの利用

- 遠隔操作およびアタッチメントの自動脱着可能な軽量建機システムの開発と実地検証
- 超軽量建機アタッチメントおよびブーム等の開発および実地検証(タグチ工業、東京農工大学)

サイズや性能・機能を維持したまま、アタッチメントを付け替えることでさまざまな作業に対応できる油圧ショベルを開発。製品化、販売も開始。



©タグチ工業